

浦安鐵鋼団地景況実感調査結果表  
(平成24年8月分)

ご協力ありがとうございました。平成24年8月分の結果をお送りいたします。よろしくご査収ください。

調査対象 162社 回答 150社 回答率 92.6%

調査項目	前 月 比					計	前 年 同 月 比					計
	10%以上 増加・上 昇・好況	やや 増加・上 昇・好況	横這い ・平常	やや 減少・下 降・不況	10%以上 減少・下 降・不況		10%以上 増加・上 昇・好況	やや 増加・上 昇・好況	横這い ・平常	やや 減少・下 降・不況	10%以上 減少・下 降・不況	
売上数量	3社 2.0% (14.7)	16社 10.7% (15.4)	46社 30.9% (41.7)	49社 32.9% (21.2)	35社 23.5% (7.1)	149社	10社 6.8% (11.8)	22社 15.0% (16.3)	46社 31.3% (34.6)	37社 25.2% (19.0)	32社 21.8% (18.3)	147社
売上高	4社 2.7% (10.2)	15社 10.0% (19.1)	42社 28.0% (38.9)	52社 34.7% (23.6)	37社 24.7% (8.3)	150社	8社 5.4% (8.5)	16社 10.8% (12.4)	45社 30.4% (35.3)	46社 31.1% (23.5)	33社 22.3% (20.3)	148社
在庫数量	1社 0.7% (2.0)	26社 18.4% (13.8)	77社 54.6% (51.3)	30社 21.3% (28.9)	7社 5.0% (3.9)	141社	8社 5.7% (6.0)	23社 16.4% (19.3)	61社 43.6% (42.7)	26社 18.6% (21.3)	22社 15.7% (10.7)	140社
販売単価	1社 0.7% (0.0)	3社 2.1% (2.6)	94社 64.4% (56.9)	45社 30.8% (38.6)	3社 2.1% (2.0)	146社	1社 0.7% (1.3)	10社 7.0% (8.0)	44社 30.8% (30.0)	60社 42.0% (42.0)	28社 19.6% (18.7)	143社
収益状況 (粗利)	4社 2.7% (5.8)	10社 6.8% (12.8)	57社 38.8% (44.2)	52社 35.4% (28.2)	24社 16.3% (9.0)	147社	5社 3.5% (7.3)	14社 9.7% (9.9)	53社 36.8% (35.1)	44社 30.6% (29.1)	28社 19.4% (18.5)	144社
稼働率 (生産・加工設備)	1社 0.9% (5.4)	6社 5.1% (15.5)	53社 45.3% (54.3)	37社 31.6% (17.8)	20社 17.1% (7.0)	117社	6社 5.2% (6.3)	11社 9.5% (12.7)	49社 42.2% (45.2)	32社 27.6% (21.4)	18社 15.5% (14.3)	116社
入出庫の トラック台数	1社 0.7% (4.0)	10社 7.2% (12.7)	56社 40.6% (56.0)	49社 35.5% (20.7)	22社 15.9% (6.7)	138社	7社 5.1% (5.4)	8社 5.8% (9.5)	64社 46.7% (50.3)	36社 26.3% (21.1)	22社 16.1% (13.6)	137社
	現在の景況感					143社	3ヶ月後の景況予測					142社
	0社 0.0% (0.0)	9社 6.3% (3.4)	54社 37.8% (36.1)	48社 33.6% (37.4)	32社 22.4% (23.1)		2社 1.4% (1.4)	33社 23.2% (21.8)	82社 57.7% (56.5)	21社 14.8% (19.0)	4社 2.8% (1.4)	
特記事項	今月も各品種の〔特記事項〕が数多く寄せられましたので、別送にてお知らせいたします											

- 注 ①調査対象会社数は浦安に事業所の無い会社（不在地主など）は除外してあります  
 ②( )内の数字は前月のパーセントです  
 ③結果表は全品種の動向として集計し、品種別の要因を取り上げる必要がある場合は  
 特記事項欄に別途記載いたします  
 ④本調査の宛先等の変更は、浦安鐵鋼団地協同組合事務局までご連絡ください  
 事務局 TEL：047-350-5311 FAX：047-350-5316

## 景況実感調査(8月) 特記事項

毎月、景況実感調査にご協力頂きましてありがとうございます。集計結果は別紙にてお送りしましたが、今月もたくさんのコメントを頂きましたのでお送りします。ご査収下さい。

[お断り]毎月のコメントはあくまで個々の“生の声”です。業界全体の標準的見解とは、若干異なる場合もあります。また、不適当な表現やわかりにくい表現については書き直しております。信用問題にかかわるものも原則として掲載しておりません。

### 薄板・表面処理鋼板

- ① 物件等は出て来ているが、引合いの価格が安すぎる。安価な引合いでも取りに行かないと仕事がない状態である。
- ② 盆休み明けの荷動きの戻りに期待していたが、裏切られた格好だ。更に、需要低迷にもかかわらず、ステンレス原材料価格は、先安を見越して換金売りが顕著になり、正常な状況にない。製造業の牽引役の自動車産業にもエコ減税反動が懸念され、不透明感が増幅している。
- ③ 表面処理鋼板においては、まったく回復の兆しが見られず、低位横這いが続いている。市況は採算面で限界があることから、一部に安い売り物が散見されるが、下げ余地がなく底値。現状の需給状況では、市況、荷動きともに膠着状態が続く。その他、小零細企業の与信の悪化が加速している。
- ④ 8月は一部品種の値戻し発表もあったが、中国、欧州の状況の更なる悪化も伝えられ、荷動きも売上も低位な月となった。高炉メーカーの4～6月期の決算も全て赤字となり、市中在庫には改善が見られるが、価格に上伸のエネルギーはない。下期に入り、本格的な復興需要がいつ出て来るのか、我慢の時。政局も不安定となり、赤字国債特例法も参院通過が大幅に遅れると、景気への影響も大きくなりそうだ。9月後半からの荷動きに期待している。見積りは増えている。

### 中板

- ① 東鉄の値上げ発表後も市況は変わらず。安値は切り上がるも、依然として採算面が厳しい状況。在庫は適正水準を維持出来ており、販売価格の改善が当面の課題だ。

### 厚板

- ① 先月、大型鉄骨があったことから山が高かったが、一段落したこともあり、今月の数量は減少した。橋梁は相変わらず低調である。今年度は70%が下期に発注される予定となっており、端境期が続いている。9月に土木分野での仕事がそこそこ見込めるが、全体としては秋口以降も不透明感が強く、先々が読みにくい状況にある。価格に関しては、反転の動きが感じられない。
- ② 東鉄の値上げ発表後も市況は変わらず、値戻しどころではなく、安値が進行している。鉄骨プロジェクト物件や建産機などは順調の数量だが、市中店売りは低調。

### —舟爰开彡金岡

- ① 大型物件は、年末にかけて出て来るようだが、業者間で取り合いをされていて、価格が上がらない。価格が上がらないため、職人さんの単価を下げるので、職人さんが減って来ている。
- ② 6月比、7月の荷動きは格段に向上して秋需への期待を膨らませたが、今月(8月)は前月比の営業日数減を上回る荷動きの減少に見舞われた。結局、7月の好調は4月から6月までの溜まっていた端境期需要が一挙に表面化しただけなのだろう。ユーザーを見回しても業種により仕事量の多寡がある。現在、値上げムードにあるが、9月以降も荷動きの跛行性に注意すべきだろう。

## 正工形鋼

- ① メーカーの対応が長いスパンで行われていない。したがって、先のことを見通してしまい、大きな変化に踏み切れない。
- ② 各メーカー、9月販価+3円/Kgの売出しで安値が切り上がった。その後、スクラップ購入価格が下がり、また9月に入ってからの荷動きに変化はなく、現状、市況上昇にはまだ至っていない。

## 異形棒鋼

- ① 市況底入れの雰囲気もあって、夏季休業前後、在庫販売が増加したが、スクラップ価格の下落に伴い8月下旬より再び低調となった。
- ② 8月、メーカーには東鉄値上げも、スクラップの上げもあり前月より多く明細が入った模様。店売りは数量、売上ともに前月より悪かった。しかし、急な加工などが多くなり、収益は良かった。

## 平鋼

- ① 盆休みが入り、全体では減少となったが、日量では横這いで推移。メーカーが値上げを発表しているが、市中との温度差があり、価格転嫁は難しい。

## 鋼管

- ① 売上高は7月に比べて若干アップしたが、8月は、また低下した。なけなしの秋需に期待する。メーカーの値上げ発表のお陰で市況は横這いを維持している。

## 構造用鋼

- ① エコカー補助金の打切り、中国を主とした建機減産など、足下よりも先行感にマイナス材料が多く、弱含み基調である。
- ② 相場は環境が悪く、早急な回復は見込めない。反対に、更に悪化することが危惧される。
- ③ 需要動向は、自動車関連についてはエコカー補助金の打切りが迫り、各メーカーは国内向けの調整が予想される。建設機械関連は、中国等海外向けの中・大型機種が減少傾向にあり、今後更に不透明である。一方、店売りについては建設機械関連を中心に一般産機等が低調なため、8月後半より更に減少している。市況については、荷動きが低調なこともあり、下落傾向となっている。

## その他

### <曲げ加工>

- ① 8月に入って予想外の低迷であった。夏季休暇も手伝って長引く景気の悪化による加工物件の少なさ、従来にない下落であった。細かい物件で短納期、まとまった物件の少なさが加工売上げの低さを物語っている。なおしばらくは厳しい状態か。

### <鉄スクラップ>

- ① 6月より変動しなかった価格が8月中旬以降、東鉄の二度の上げで約10%上がり、今までの在庫も含めて調達即納入体制で、ヤードは軽くなる。東の間の上げ基調は8月末には下落し始める。

### <金属表面処理加工>

- ① 7月は物件物、紐付き材ともに計画通り。スポットは7月比べ、引き合い、受注とも活発で引き続き高位で推移。9月は物件物の受注案件が多いことから、前倒して施工を予定しており、高操業を期待できそうである。